

平成 21年9月20日



森づくり集団「<sup>しほり</sup>栞」事務局通信 Vol.12号

今月のお知らせ:

【今月の活動報告】【次回の活動予定】【お知らせ/募集】【編集後記】



9月 第3フィールドの様子

【今月のお知らせ】

次号は通信が発行されて1周年になります。

1年間読んでいただいた方、そしてご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。

初めは雲をつかむような状態ではじめましたが、何となくかたちが出来てくるに従い、この方がよいか？こっちの方がよいか？と試行錯誤してきた1年間でした。

いろいろな失敗もあり、ご迷惑もお掛けいたしました。

今後その失敗を活かし、皆さんからのレポート・原稿、ご意見・アイデアを頂戴し、内容の詰まった通信を作成していきたいと思っています。

これからも、森づくり集団「栞」事務局通信 をよろしく願いいたします。

事務局 影

【今月の活動報告】

第2回 間伐材を使った巣箱づくり

8月29日(土)、30日(日)

栃木県岩舟町

参加者 / 渡部、武田、吉田ひ、豊島、伊藤、緑川、吉田あ (敬称略)

活動担当者 / 小林

ふじみ野市環境フェア用の巣箱及び環境  
アートを作成しました。

材料は川越市にある「もっこ館」で調達して、  
2日間の日程で29個の巣箱が出来ました。



巣箱のキットと見本品



手ぬぐい掛けは環境アート



森づくり集団「菜」 巣箱 完成品

環境学習会担当 小林

9月6日(日)10:00より

三芳フィールド作業等

参加者 / 渡部、武田、土金、吉田あ (敬称略)

活動担当者 / 吉田(ひ)、緑川

本日の作業は三芳フィールド近くの、地主さん所有地に物置の設置作業を実施。森の作業とは勝手に違い試行錯誤の作業となりましたが、無事立派な物置が設置できました。

参加された皆さん、ご苦労様でした。

作業終了後、第3フィールドに移動し、ふじみ野市環境フェアで利用する、エコノキの準備を行いました。



無事に物置が設置できました

森林保全活動担当 吉田ひ

#### 【次回の活動予定】

9月20日(日)10:00より

第1フィールド作業

9月20日(日) 下富フィールドの下刈り作業を実施します。

7月・8月と2回、大森様のお手伝いを実施してきました。

今回最終回と考えております。

連休中であり皆様お忙しいと思いますが、参加お願いいたします。

活動担当 小林

**ふじみ野市環境フェア**  
10月3日(土)10:00より

**福岡中央公園**

午前10時から午後3時まで  
雨天の場合は10月4日に順延  
同実行委員会に「栞」も参加しております。当日は、巣箱作りの製作・販売を行います。巣箱の準備はしてあります。  
他に、パネルを使って私たちの活動内容を展示したりします。  
詳しくは、16日の実行委員会に緑川さんが参加しますので、その後にご連絡いたします。  
参加申し込みは、事務局まで。  
会員皆様の参加をお願いいたします。

**10月4日(日)10:00より**

**第3フィールド作業予定**

秋風が心地良い季節になりました。  
今回は、第3フィールドの秋の植生調査も行いたいと思います。  
参加される方は、事務局まで申し込みをお願いします。

**森林保全活動担当 吉田ひ**

**最上の巨木ツアー**

**10月24日(土)～25日(日)**

詳しい行程は、参加者に直接お知らせいたします。

**自然観察会副担当 土金**

**【今月のレポート】**

**里山の管理は・・・**

**会員 吉田敦子**



**2009.9.13 撮影**

この写真は、先週山形県に行った際に撮影してきたものです。  
何処の山も同じ状態でした。  
まだ、紅葉には早いのに、山が真っ赤になっていました。

ナラ枯れは、病原菌(*Raffaelea quercivora*)学名:ラファエレア・クエルキボーラ による伝染病です。  
これはカシノナガキクイムシが媒介するカビの一種。  
カシノナガキクイムシはナラの小径木よりも大径木を好み、さらに樹幹上部より地際の太い部分に集中して穿入します。  
ナラ枯れの被害は樹齢 40 年以上の大木に多くみられます。

「地球温暖化がナラ枯れ増加の原因」と言われたこともありましたが、実は放置された里山林の増加が原因だそうです。

ナラ枯れやマツ枯れを予防するためには、里山の健康的な管理が唯一の策です。

江戸時代、薪や肥料採取のため人為的に作られたマツ林や広葉樹林を「天然林」という区分に含めたために、多くの人に「伐採はダメ、人の手を加えてはいけない」という大きな誤解を生んでしまった事がこの被害を更に拡大してしまったようです。

放置された里山林はかつての原生林のような姿に戻る確率は極めて小さく、結局森林を構成する様々な生物の種数や多様性は、かつての原生林にも戻らず、利用されてきた里山林にも劣るという事態に陥る可能性があります。

さらに近年、里山の公園的な整備が進み、林床の低木などの刈り込みが中心とされ高木のナラは切らずに大事に残されてきました。  
これが、カシノナガキクイムシの繁殖を促進するものなのだという事を理解し管理する必要があるようです。

引用 「里山に入る前に考えること」行政およびボランティア等による整備活動のために  
独立行政法人 森林総合研究所

上記の資料は、わかりやすく私達の作業にとっても役立つことが書かれています。  
同資料によるとナラの幹直径が 20～30 センチをピークに、40 センチを越えると萌芽率が悪化するとのデータが記載されています。



大きなギャップができました。  
既に低木は処理してしまいました。  
ギャップ更新は出来るでしょうか？  
2009.9.6 撮影

第3フィールドで40年を越えた  
コナラを伐採しました。



## 【お知らせ/募集】

### 参加者募集のお知らせ

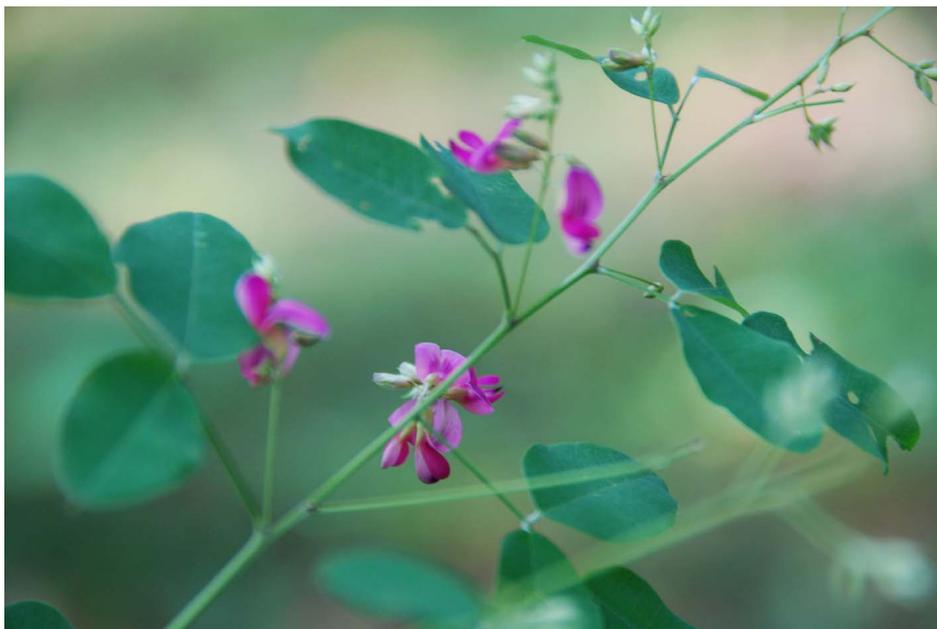
森づくり集団「<sup>しほり</sup>菜」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山及び三芳町で里山の手入れをおこなっております。  
会員のほとんどが森林インストラクターの資格をもち、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。  
私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをおこない、経過を観察したり、新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。  
また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などの企画計画していますので、興味のある方は下記事務局にご連絡下さい。

事務局

## 編集後記

遅まきながらブームにのっとりウォーキングを始めました。近くの高等学校の周りを一周すると一キロメートルという目安があり、時間を考えながら歩いています。そのコースには雑木林や畑がありさまざまな植物を見ることができます。(中には最近覚えた「オオブタクサ、きくいも」等もありますが・・・)  
なかでも「からすうり」の花は子供のころの懐かしい風景、そして赤い実は運動会で一等をとるために足にぬりつけたりした記憶がよみがえります。  
今年の夏は猛暑がありませんでしたが、空いっぱいアキアカネが舞い、きんもくせいの香り、彼岸花と待ちに待った秋到来です。そうそう柿やクリもありますね・・・

緑川



第3フィールドのマルバハギ

2009.9.6 撮影

## 季節の言葉

**寒露**(かんろ)・・・二十四節気の一つで10月8日ごろ。露が凍る手前の時期。  
秋風が身にしみる。

**霜降**(そうこう)・・・二十四節気の一つで10月23日ごろ。秋も深まり霜が降り、冬の到来を感じさせる。

**鰯雲**(いわしぐも)・・・巻積雲の俗称。秋空に鰯が群れるように見える雲。

**刈田**(かりた)・・・田んぼに刈り株が整然と並ぶ様子は1年の仕事を終えた充実感と寂しさがある。

あ

森づくり集団「<sup>しほり</sup>菜」事務局

アドレス [m-mido@tcat.ne.jp](mailto:m-mido@tcat.ne.jp)

ホームページ <http://mori-shiori.sakura.ne.jp/>

事務局長 緑川睦子